

消滅可能性都市の汚名返上!!

～大発展か消滅か 今、決断の時!～

**選ばれる市、葛城市と
選ばれない市、大和郡山市。
交通の利便性は同じなのに、
なぜ!!**



きたもん ゆうき
北門 勇氣

先日ニュースでも大々的に取り上げられましたが、奈良県の葛城市が、「住みよさランキング2020」(東洋経済調べ)で近畿地方第2位、全国第31位(812市区中)と発表されました。日本で少子高齢化による人口減少が進む中、葛城市は、市の努力により、「住みよい街」として若い世代に選ばれ、年々人口は増え続けています。

一方、わが町大和郡山市は、人口減少が加速度的に進んでおり、将来「人口が激変する」自治体ランキング(東洋経済調べ)で、奈良県では五條市、宇陀市、御所市、大和高田市、桜井市に次いで、大和郡山市がランクインしています。人口減少に歯止めがかからず、将来、存続ができなくなるおそれがある自治体、いわゆる「消滅可能性都市」としても名前が挙がりました。

大和郡山市の人口減少は、市が消滅する可能性があるほど深刻な状況です。

大和郡山市は、市民サービスが悪く、住みにくい街であると判断され、毎年人口は減り続けています。

大和郡山市と葛城市、なぜこんなにも評価が違うのでしょうか。

そこには、税収をどれだけ市民の生活に還元しているのか、「市民サービスの質」に圧倒的な差がありました。

大和郡山市と葛城市的比較

比較1

交通の利便性

比較2

人口推移

大和郡山市

市内の駅の数 7駅
大阪都市圏まで 30~40分
京都都市圏まで 40~50分

葛城市

市内の駅の数 7駅
大阪都市圏まで 30~40分
京都都市圏まで 90分

大和郡山市

年／平均 454人減少
(2008年~2019年の人口推移より)

葛城市

年／平均 135人の増加
(11年連続人口増加)

※交通の利便性を比較すると、京都にも近いという点で、大和郡山市の方が都市部への移動は便利です。

※市民が住みやすいと感じるかどうかは、市の政策によります。住みにくい市からは人が流出する一方です。

「消滅可能性都市」の汚名を返上するため、市民の生活に密着したサービスの向上を!!

比較3 子どもの医療費 助成制度

大和郡山市

15歳まで

1医療機関 月額500円

葛城市

18歳まで

1医療機関 月額500円

※手厚さ 全国1位

※奈良県からの医療費助成が15歳まで1医療機関500円です。
葛城市は、全国1位の支援を行っています。

比較5 コミュニティバス

大和郡山市

3路線 1回 100円

葛城市

7路線(乗り合いタクシー含む)

1日 100円

※葛城市は、市内循環路線を2路線、市内中にコミュニティバスが走っています。
さらに、1日100円乗り放題となっており、利便性が高いです。

その他、葛城市はナンバーワンを目指し、「市民の生活支援」を市独自の政策で充実させることで、利便性、快適度、安心度などで高い評価を得て、住みよさランキング近畿で第2位となりました。

市の努力があれば、必ず人口は増加します!!

今回取り上げたように、今の大和郡山市の人口減少はかなり深刻な状況です。待機児童の問題や、学童保育の遅れなどによる子育て世帯の負担、人口減少による近隣スーパーの閉鎖や空き家が増えたことによる治安の低下、移動手段がなく、買い物や病院へ行けない不安、介護を支える世代の負担。

今、大和郡山市政は、「消滅可能性都市」という最悪な現状と全力で向き合い、変革しなければいけない緊迫した状況です。イベントの開催ばかりに力を入れるのではなく、市民の生活を第一に考え、税収を増やす努力をし、市民の生活へと還元をする義務があるはずです。

「消滅可能性都市」の汚名返上! 手遅れになる前に、「今、変革の時!」

大和郡山の未来をひらく会からのお知らせ ボランティア募集 —— 月1回の子ども食堂 ——

只今、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために活動を休止しておりますが、引き続きボランティア募集中です。

場所：西田中町ふれあいセンター
お問い合わせ：y.miraiwohirakukai@gmail.com
080-3843-6876(子ども食堂)

きたもん勇気後援会

<https://ymiraiwohirakukai.wixsite.com/mysite>

大和郡山市横田町47-2

会長 米山 定男

